



小浜温泉 未来BOOK

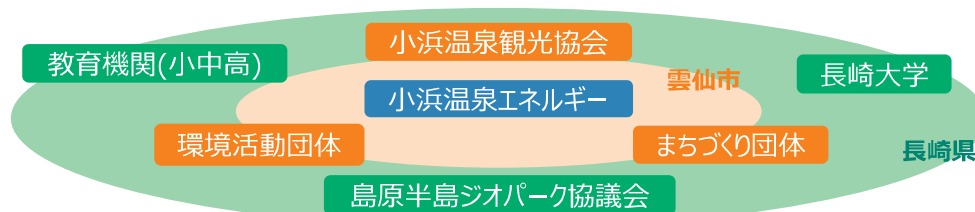
105通りの小浜プロジェクトを目指して

小浜温泉エネルギー活用推進協議会
平成25年度 小浜温泉まちづくり協働部会

01 まちづくり協働部会の紹介



体制図



参加団体

団体名	活動内容
一般社団法人 小浜温泉エネルギー	未利用資源を活用した温泉発電を核とした持続可能なまちづくりへ向けての活動
小浜温泉観光協会	小浜温泉における観光客集客推進事業およびイベント活動
小浜温泉旅館組合	小浜温泉の宿泊客や、ファンを増加させるための様々な活動・イベントの開催
雲仙森林組合	森林作業および間伐材により収穫された木材の利用
雲仙市商工会 小浜支所	地域の商工業の経営改善および普及促進・まちおこし
雲仙市商工会女性部 小浜支部	地域活性化のためのボランティア活動や環境美化活動
小浜町婦人会	各種イベントへの協力およびまちの活性化に向けての活動
小浜温泉観光ガイド	小浜温泉さるくにおける観光ガイド（島原半島ジオパークガイド）
小浜温泉57	国道57号線沿いの環境美化活動およびジャカラング街道づくり
小浜温泉女将の会	女将同士の結束連携を高め、各種イベントへの協力や観光振興のための活動
ジャカラングフェスタ振興会	ジャカラングフェスタの運営および苗の育成管理
チェンジ小浜の会	様々な業種の協力体制を築き、新たな小浜を生み出すための活動
小浜ば花いっぱいにするで	地域の美化活動および各種まちづくりイベントの開催
北刈水エコヴィレッジ構想委員会	過疎化が進む刈水地区の空き家を活用した新たな観光地区づくり
雲仙エコ塩 株式会社	温泉熱を活用し、燃料を一切使わない自然塩を製造
ウェルカム社瑞穂	温泉熱を活用し、廃油からバイオディーゼル燃料を製造
関水産 観光事業部	養殖事業（温泉熱を活用した養殖や小浜温泉におけるマリンレジャーを検討）
島原半島ジオパーク事務局	島原半島ジオパークの保護・保全と、教育および観光振興のための取組み
長崎県 グリーンニューディール推進室	環境・エネルギー産業の創出および振興
雲仙市 環境政策課	雲仙市の環境に関する全般の事業
長崎大学 環境科学部	自然エネルギー活用推進のための調査研究

平成25年度 主な活動スケジュール

- 平成25年 9月19日 第1回まちづくり協働部会 開催
- 平成25年 9月26日 小浜中学校フィールドワーク
- 平成25年10月10日 第2回まちづくり協働部会 開催
- 平成25年11月30日 協働イベント『湯けむりアート』（小浜ば花いっぱいにするで事務局・長崎大学・RING ART）
- 平成25年12月 2日 協働講演会『自然エネルギー講演会』（小浜温泉57）
- 平成25年12月19日 第3回まちづくり協働部会 開催
- 平成26年 1月16日 小浜温泉体験型プログラム 開始（HP掲載・足湯ヘチラシ設置）
- 平成26年 2月25日 小浜小学校フィールドワーク
- 平成26年 3月 5日 第4回まちづくり協働部会 開催

02 まちづくり協働部会の活動



まちづくり協働部会の体制

まちづくり協働部会では、小浜温泉に点在する未利用資源を活用した新しい取り組みについて、参加者みなさんと話し合い、地域活性化を目指しています。具体的なテーマについては、小部会(ワーキンググループ)に分かれて協議検討を行っています。

全体協議会

参加者：21団体

熱利用
ワーキンググループ

体験型
ワーキンググループ

各ワーキンググループの活動と展望

熱利用ワーキンググループでは、未利用の熱資源を活用した環境の取り組みについて考えます。



入浴施設・美容施設



温泉熱利用 温室栽培



温泉熱利用 養殖

体験型ワーキンググループでは、小浜温泉を生かした体験型の観光や教育の取り組みについて考えます。



マリレジャー



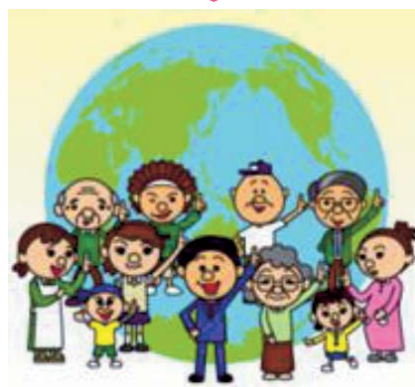
自然体験



トレッキング



雇用や観光客の増加



地域活性化

各団体との連携強化

小浜温泉で活動する各団体が連携することで、既存の活動やイベントをより活発に、より強化することが出来ます。

各イベントの実施・参加協力

雲仙市内の教育機関との連携

環境活動の実施・協力

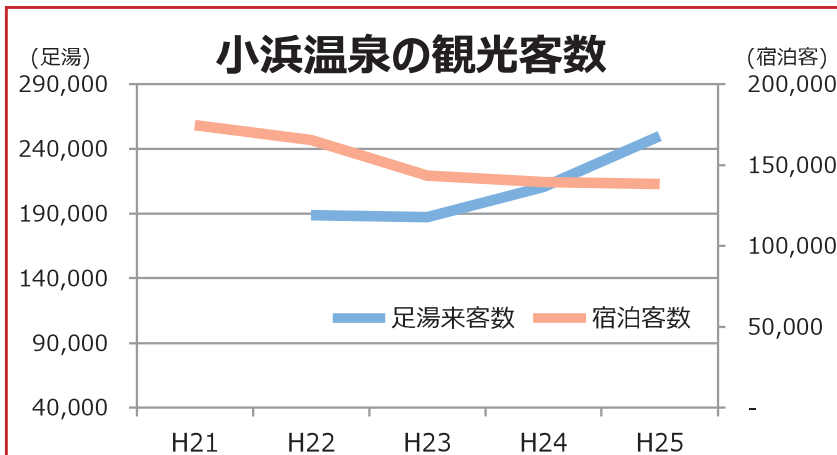


03 現在の小浜温泉の状況

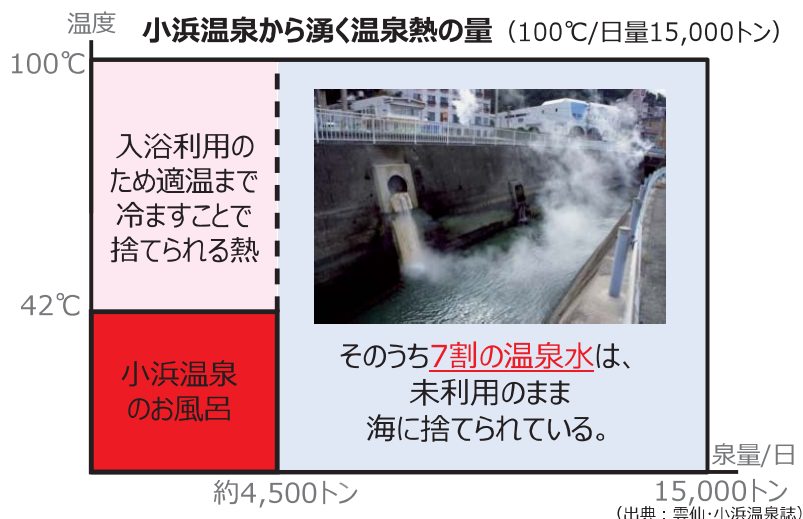


観光客の推移

小浜温泉では、平成22年2月22日にほっとふっと105が完成し、日帰り観光客は年々増加しているものの、宿泊客は7年以上連続で減少している。



小浜温泉で毎日捨てられている温泉の熱



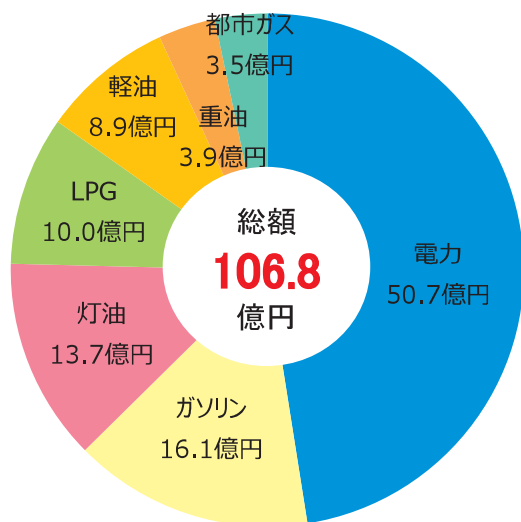
小浜温泉の捨てられている熱の価値はどれぐらい？

年間**103.56**億円

※西部ガスで20℃の水をやかんで100℃に熱する時に必要なガス料金から試算
※7割の温泉熱から試算

雲仙市のエネルギー

現在雲仙市では、各家庭・施設等で使うエネルギーを調達するために、年間**約100億円以上**を市外へ流出しています。



雲仙市総世帯数：16,000世帯
1世帯1時間の平均電力消費量：約0.42kWh
雲仙市全家庭の平均電力消費量：約6.7MW/h

発電方法	ポテンシャル
地熱・温泉発電	45.0MW
風力発電	7.64MW
太陽光発電	1.08MW
中小水力発電	1.68MW
合計	55.4MW

電力の自給率

827%

のポテンシャル量！

(2009年現在 7.43%)

雲仙市には、市内のエネルギーを十分賄うだけのポテンシャルがあるのです

04 小浜温泉の魅力ある資源



小浜温泉にある資源って？

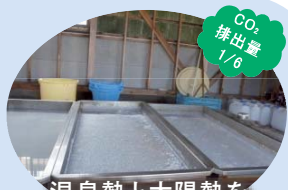


資源の活用状況

温泉



温泉熱を活用し、様々な取り組みに利用されているが、まだまだ多くの温泉水が未利用のまま海に捨てられている



CO₂ 排出量 1/6
温泉熱と太陽熱を利用してつくる自然塩



CO₂ 約30t 削減
バイオディーゼル燃料の製造時に必要な熱を温泉熱でまかない廃油から燃料を製造



約120 世帯分の電力
温泉熱で電気をつくる温泉バイナリー発電

空き家・空き店舗



空き家を再生し古民家カフェや移住者住居に利用したり、空き店舗を再生利用する取り組みは成されているが、まだまだ空き家・空き店舗は点在する



空き家を再生した古民家カフェ『刈水庵』



空き店舗を再生したカフェ『SAN MARZANO』

05 各団体の声



望むこと



目指すビジョン



06 ワークショップの実施報告



2013年10月10日
まちづくり協働部会

昔の小浜温泉を知ろう

小浜温泉に住んでいる私たちが小浜温泉のことを知らない。
まずは小浜温泉を知ることから始めよう！ということで、昔の小浜温泉の様子や暮らしを、ワークショップや聞き取りを通して集めてみました。



暮

- 塩工場の田園があり、湯雨竹に温泉を通していた。
- 旅館のお客さんが窓から釣り糸を下げて魚を釣っていた。
- 旅館内にお土産屋さんが無く、お客さんが外にお土産を買いに行っていた。
- 買い食いの代わりにみかんや枇杷を採って帰っていた。
- 魚商が魚を売りに遠くから歩いて来ていた。
- 浴衣姿でまち歩きしている人が多かった。
- ろうそく送電だったため停電が多かった。
- 観光客の下駄の音や修学旅行の学生がうるさかった。
- 昭和22年に小浜会館から天草屋まで火事で全焼。
- イワシがたくさん獲れていて、煮干し工場や綱元がたくさんあった。
- 北村の海に井戸や造船所があった。(砂浜も)
- 湧水が豊富で、川で洗濯をしていた。
- 今のマリパークが船着き場で、波止場になっていた。
- 通学スリッパもわら草履だった。
- 歴史資料館も平地は塩工場で、今の貯湯タンクが海水タンクだった。
- 小学校のお弁当にはさつま芋をよく食べていた。
- タバコは松の葉を干し、紙で巻いて吸っていた。
- にこにこふれあいハウスのすぐ近くまで海で、サザエやアワビがよく獲れていた。
- 25～30年前、北村にみかん選果場があった。
- 『湯まつり』は各部落の持ち回りの仮装行列で競り合って、小規模な長崎くんちのように賑わっていた。

遊

- 学校をさぼって山学校・海学校に行くと言って山や海で遊んでいた。
- ケンケン遊びや石投げ・縄跳び・ゴム跳びをしていた。
- お手玉やビー玉・メンコ・おはじきをしていた。
- ケンゴマや缶蹴り・チャンバラをしていた。
- 竹トンボや竹馬など作って遊んでいた。
- 製塩工場がたくさんあった時代、海水をポンプで引き上げる時、海水と一緒に上がってくる稚魚がタンクの中で次第に大きくなるので、釣り堀みたいな感じでよく釣っていた。
- よく木登りをして棕の実を食べていた。
- 冬は山でチャンバラごっこ、夏は波止場で遊泳ばかりしていた。
- ストリップ劇場が4つあり、子供の肝試しの場になっていた。
- ゴルフ場でよく遊んでいた。
- ボーリング場やスマートボール場があった。
- 昭和34年4月1日まで芸者遊びがあった。
- 昔の遊びとして、うちだ・とんぼつり・小鳥の囀かけ・あつかん・ターザンごっこ・蟬とり・杉鉄砲・肝試し・水泳・トロのり・竹輪まわし・馬けり・ドンボやダクマつり・野球・釘たおし・腕相撲・相撲・将棋・山いちご(もも)採り・鬼ごっこ・はしぐらなどやっていた。

湯

- 温泉にキンカンを浸けて、ふやかして食べていた。
- 温泉でお茶用のお湯を温めたり、コタツに使っていた。
- 小浜全体が湯治客のための木賃宿で、農繁期の疲れを癒しに農家の方が多く来ていた。
- 1つの浴場に、周辺の十数件の家庭がもらい風呂(〇円/月)に行っていた。
- 鶏を絞めたら、温泉に浸けて毛を剥ぎやすくしていた。
- 温泉熱を利用したバナナ園があった。
- ツワやフキを採って、温泉に浸けて皮をむいていた。
- 1銭湯5銭湯10銭湯のように、価格によって温泉にも段階があった。(休憩所があったり)
- 湯治は2週間～1ヶ月で、主食(米)は持参していた。
- 筍を皮ごと温泉に浸けて、あく取りをして食べていた。
- 野菜や卵を温泉で茹でていた。
- 温泉の熱を使うので、旅館もボイラー室が要らなかった。
- ふれあいハウスの近くの川に土のうを積み、流れる温泉を溜めて入浴していた。

食

- 芋の粉で黒団子を作り、お湯で湯がいて食べていた。
- カニがよく獲れて売りに来ていたので、湯がいてよく食べていた。
- クジラをよく食べていた。(カレーや給食にも使われた)
- 芋のツルやさつま芋・かぼちゃばかり食べていた。
- 椎茸やかし茸が自生していて、よく採って食べていた。
- 肉の代わりに、うどんに落花生を入れて食べていた。(ダシは大豆から)
- 湯治客が旅館の縁側で、七輪で魚を焼いて食べていた。
- イワシやエタリの刺身(おびき)をよく食べていた。
- 塩饅頭のお饅頭を食べていた。
- なば(きのこ全般)を採りに行くと言って、よく山に入っていた。
- 枇杷は木に登ったまま食べていた。
- 木の実(椎の実・どんぐり・榎の実)をよく食べていた。
- 筍の皮に梅干しのシソを入れ、水を加えてジュースとして飲んでいました。
- 『ちよろきん』というさつま芋の飴が、60～70年前の子供たちの唯一のお菓子だった。

07 ワークショップの実施報告Ⅱ



2013年10月10日
体験プログラムワーキンググループ

小浜温泉にある資源は？

まず、小浜温泉にある魅力的な資源を洗い出し、そこで何か出来ないか考えてみることにしました。
小浜温泉にある資源って？

富津：六角井戸・鉄道跡	夕日	製塩所
車が入らない地区（刈水地区）	海	ほっとふっと105
温泉	湯せんぺい	炭酸泉
ジャカラダ	江戸時代の道	湯けむり
小浜温泉バイナリー発電所	小浜温泉の歴史	小浜温泉歴史資料館
杜鵑山（桜・鳥・景色）	湯太夫の歴史	島原半島ジオパーク

小浜温泉で出来る体験プログラムは？

小浜温泉をお客様の記憶に残るまちにしたい。
記憶に残すには、自分で実際にやった・作った・食べたなど、体験した経験が記憶に残り易い。
では、小浜温泉で出来る体験ってどういったことがあるだろう？

今あるもの	今後欲しいもの
発電所見学	ヘルスツーリズム（健康との連携）
蒸し釜体験	スタンプラリー（各スポット）
足湯体験	小浜温泉歴史講座（神社で）
刈水散策・古民家カフェ	湯太夫の語り部
小浜さるくいず	製塩体験
観光船釣り体験	海釣り体験（船・波止場）
歴史資料館見学	スナメリウォッチング
小浜温泉さるく	ペーロン・シーカヤック
小浜温泉ジオツアー	海上綱引き大会
こどもジオツアー	エコ塩を使った料理
	塩づくりの工程模型
すぐ出来ること	フードパルの様な複合体験施設
史跡めぐり・景色めぐり	ナイトジャカラダツアー
湯せんぺい手焼き体験	朝市夜市
夕日めぐり	ジオマルシェ
夕日スポットの人気投票	シラス漁体験
	シュノーケリング



出来ることからやってみよう！ということで、実際に受け入れ先を選定し、体験スポットを小浜温泉のMAPに落とし込んでいきました。既にホームページ上や足湯へはMAPを設置し、受け入れを行っています。今後は更に既存プログラムの強化や、各プログラムを関連付けて回るモデルコース等も検討しています。



08 小浜温泉体験型プログラム紹介



① 正座読経体験

3日前までに要予約



小浜温泉にあるお寺の境内で、静かに座る「静座」をしてお経を読みます。心を落ち着かせて日ごろの行いや言動を振り返ってみましょう。

場 所	傳明寺
住 所	雲仙市小浜町北本町2-1
体験日時	10:00～15:00 別途相談に申し込み
定 員	4～20名/回（団体も受け入れ可能ですが、ご相談下さい）
所要時間	30分程度
料 金	お気持ちで結構です
申込み	【TEL】0957-74-2317
駐車場	有り（無料）
備 考	傳明寺の古くは歴史や、住職のお話も聞くことができます。敷地には、小浜温泉を伝えた中国の僧侶の墓、入道師の墓もあります。探してみてください。

② こどもジオツアー

とびこみOK



専用ドリルと『たびのどうく』温度計やリトマス紙などを持って、小浜温泉の観光名所である上の川湧水・炭酸泉・小浜歴史資料館・ほっといっと105を巡りながら答えを導きだそう。

場 所	小浜温泉街周遊（集合：観光協会）
住 所	雲仙市小浜町北本町14-39
体験日時	9:00～17:00
定 員	1名～（保護者同伴）
所要時間	約60分
料 金	300円/人
問合せ	【小浜温泉観光協会】 0957-74-2672
駐車場	無（マリニパークの駐車場をご利用下さい）
H P	【小浜温泉観光協会】 http://obama.or.jp/
備 考	小浜温泉観光協会『たびのどうく』を兼ねてね。月曜日は小浜歴史資料館が休館のため、ほっといっと105で対応します。

③ 観光船釣り体験

前日までに要予約



観光船で海に出て、橋湾の豊富な漁場で、安全に釣りを楽しむことが出来ます。乗船代・釣り具・えさ付きなので、手ぶらでOK！レジャーに最適！

集合場所	小浜マリニパークの桟橋
住 所	雲仙市小浜町北本町905-71
体験日時	【受付】8:00～17:00 【体験】時間はご相談下さい
定 員	～10名
所要時間	約3時間
料 金	【大人】3,000円【子供】2,500円
申込み	丸石水産（銭丸） 【午後3時～6時】0957-76-0081 【上記以外】090-9580-6993 【FAX】0957-76-0063 【E-mail】marukishisuisan@nagasaki-net
駐車場	無（マリニパークの駐車場をご利用下さい）
H P	小浜温泉観光協会HPにチラシ掲載
備 考	事業主体：小浜観光資源振興会 ※悪天候の場合は中止になります

④ そば打ち体験

前日までに要予約



厳選したそば粉と水を使って本格的なそば打ち体験ができます。自分で打ったそばは、その場で食べるもよし、持ち帰るもよし。素敵な思い出になりますよ！

場 所	榮菜館
住 所	雲仙市千石町庚1280-1
体験日時	火曜～土曜【午前】10:00～ 【午後】15:00～
定 員	1～4名/セット（4人前） 最大8名/回
所要時間	～60分
料 金	2,100円～3,000円
申込み	【TEL】0957-37-2465 【E-mail】asaikan@fujagocorp.jp
駐車場	有り（無料）
H P	https://www.facebook.com/sobaasaikan
備 考	定休日：月曜日 （祝日の場合は翌日がお休みです）

⑤ 蒸し釜体験

セルフ



小浜温泉の高温な温泉の蒸気を使った蒸し釜で、旬の食材を蒸してみませんか？卵・野菜・魚介類等、好きな食材を持ち込み、セルフで利用できます。

場 所	小浜温泉マリニパーク
住 所	雲仙市小浜町北本町905-71
体験日時	【4～10月】10:00～18:30 【11～3月】10:00～17:30
個 数	蒸し釜6個
所要時間	良材により異なります
料 金	蒸し釜使用料：無料（貸か100円） 卵や季節の野菜も販売しています（持ち込みOK）
問合せ	小浜温泉観光協会：0957-74-2672
駐車場	無（マリニパークの駐車場をご利用下さい）
H P	小浜温泉観光協会 http://obama.or.jp/
備 考	毎月第1月曜日は10:00～13:00まで（第1月曜日が祝日の場合は第1火曜日） 半年に1回、温泉の湯の熱を体感できます

⑥ ピザ焼き体験

とびこみOK



生地に好きな具材をトッピングし、本格的な石窯で焼いて自分だけのオリジナルピザが作れる！焼いたピザは、橋湾を望むテラスでどうぞ。（持ち帰り可）

場 所	海の駅
住 所	雲仙市小浜町富津4239
体験日時	【平 日】11:00～24:00 【土日祝】10:00～24:00
定 員	1名～5名/回
所要時間	～30分
料 金	1,500円/枚（フリードリンク付き）
問合せ	【TEL】0957-76-0400
駐車場	有り（無料）
H P	https://www.facebook.com/uminoekitomitsu
備 考	ピザ焼きと一緒に、新鮮な魚介類をそのまま炭火で食べられる海鮮バーベキューもいかがですか？ ※混雑時はお待ちいただく場合もあります

⑦ 湯せんべい手焼き体験

とびこみOK



小浜温泉の名物『湯せんべい』を自分で焼いて出来たてが食べられる！もちろんお土産にもOK。湯せんべいの古くは歴史も学べるよ！

場 所	よしちよう 1 階
住 所	雲仙市小浜町北本町915-32
体験日時	火曜～金曜 8:30～15:30（不定休） 湯せんべい製造中なら受け入れOK
定 員	5～10名/回
所要時間	15～20分/回
料 金	500円/人
問合せ	もちもち【TEL】0957-74-3665
駐車場	無（マリニパークの駐車場をご利用下さい）
H P	http://www.mokumoku.or.jp/
備 考	地元製菓会社と共同して、障害者の方々が習得する技術を磨きながら湯せんべいを製造しています。 その洗練された技術は感動ものです。

⑧ 絵付け体験

1週間前までに要予約



韓国人陶芸家『玉銀喜（ユ・ギル）』さんによる絵付け体験ができます。カラフルな絵の具を使い、自由に色を付けて描き自分だけのオリジナル陶器が出来ます。

場 所	スタジオシロタニ
住 所	雲仙市小浜町北野740
体験日時	月水金【午前】10:00～ 【午後】13:00～
定 員	4名～10名/回
所要時間	60～120分
料 金	2,000円～（送料別）
申込み	【TEL】0957-74-3433 【E-mail】kosei@plum.ocn.ne.jp
駐車場	有り（無料）
注 意	焼き上がりまでに2週間ほどかかります（郵送可）
備 考	数種類の絵をご用意しております。 初めての方でもお気軽にお申し込み下さい。

⑨ 小浜温泉さるく

前日までに要予約

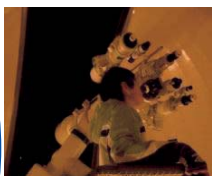


小浜温泉のボランティアガイドが、ふら～っと小浜温泉を散策しながら、有名どころから穴場まで、隠れた小浜温泉の魅力をたっぷり紹介してくれます。

集合場所	小浜温泉観光協会前
住 所	雲仙市小浜町北本町14-39
体験日時	相談に申し込み
定 員	1名～
所要時間	60～90分
料 金	500円/人（5名以上2,000円/団体）
申込み	【TEL】0957-74-2672 【FAX】0957-74-2884 （HPより専用申込書有）
駐車場	無（マリニパークの駐車場をご利用下さい）
H P	http://obama.or.jp/
備 考	【まち歩きコース】 ①小浜温泉から徒歩 ②小浜温泉から徒歩 ③小浜温泉から徒歩 （マイカーの利用の場合+1,000円/回）

⑩ 星空観察会

とびこみOK



九州でも最大級の天体望遠鏡で、月や惑星・星団をじっくり観察してみよう！その時期に見られる季節の星座も学べるよ。

場 所	雲仙道の池 ビクターセンター
住 所	雲仙市小浜町大電
体験日時	毎週土曜 19:30～21:30 （21:00までに受付）
定 員	1名～
所要時間	30分～
料 金	無料
問合せ	ビクターセンター：0957-76-5010 休暇村雲仙：0957-74-9131
駐車場	有り（無料）
H P	http://suwanokewcweb.fc2.com/
備 考	悪天候の場合は中止します。 実施されるかの確認は、19:30以降休暇村雲仙へご確認ください

⑪ 塩作り体験

前日までに要予約



小浜温泉の温泉水と、橋湾の海底深く汲みあげた海水をブレンドし、温泉の熱で蒸発させて、自然塩を作ります。自分で作ったミネラル豊富な塩は、どんな料理にも合いますよ！

場 所	雲仙エコ口道
住 所	雲仙市小浜町マリナ8-1
体験日時	相談に申し込み
定 員	1人～
所要時間	～10分
料 金	500円/回（50g程度の塩ができます）
申込み	【TEL】080-1767-0394
駐車場	有り（無料）
H P	http://ecologyalt-nagasaki.jp/
備 考	温泉の熱で蒸発させて作るため、土上がはきかたくなります。 （約12時間乾燥後） 設置時間によっては完全に結晶化していない場合もございますが、液体のままでも塩としてご利用いただけます。

⑫ 日帰り体験

2週間前までに要予約



自然観察やネイチャークラフト・染め物体験等、季節に応じた様々なプランをご用意しています。体験内容や料金・人数等もご相談に応じます。お問い合わせください。

場 所	雲仙道の池 ビクターセンター
住 所	雲仙市小浜町大電
体験日時	【開演時間】9:00～17:00（水曜休み） 開演時間内で相談に申し込み
定 員	5名～（最大50名）
所要時間	体験内容により異なります
料 金	体験内容により異なります
問合せ	【TEL】0957-76-5010
駐車場	有り（無料）
H P	http://suwanokewcweb.fc2.com/
備 考	【実施例】 自然観察・工作（人狼観察） ネイチャークラフト（リースや書物等） 草木染め・藍染め体験 etc...

09 平成25年度の協働取組活動報告



×小浜温泉の教育機関

発電所見学等のフィールドワークを通して、小浜温泉にある様々な地域資源を見直し、活用を検討してもらいました。



小浜小学校

自然エネルギーの有効利用について学ぶ
平成26年2月25日



小浜中学校

小浜温泉にある『もったいないモノ』を有効利用する取り組み
平成25年9月26日

×小浜温泉の各団体



湯けむりアートイベント

『湯けむり』をテーマに絵を描こう
平成25年11月30日



小浜高校

小浜温泉での様々な取り組みの紹介
平成25年4月22日



自然エネルギー講演会

自然エネルギー講演会

西歌中心の科学技術文明の変わり目
・ 脱炭素の前提
広島・長崎核爆と福島原発の連続性
(新藤プロジェクトと福島学生団)
西歌中心の産業化による平和建設の関連性
(紛争中心のエネルギーと平和建設)
日本国家の持続性と脱炭素社会の建設
(日本国家の持続性、脱炭素社会の建設)

『世界は今 脱原発そして自然エネルギーへ』
(講師:武者小路公秀氏) 平成25年12月2日



刈水デザインマーケット

過疎地区活性化のイベントへ出店参加
平成25年12月7日

10 平成25年度の協働取組活動報告Ⅱ



×熱利用事業ワーキンググループ



温室栽培試験ハウス 平成25年12月～



木質ペレットストーブ勉強会 平成25年12月9日～

×体験プログラムワーキンググループ



湯せんぺい手焼き体験 平成25年10月18日



温泉熱で塩作り実験 平成25年12月24日～

×雲仙市商工会 小浜支所



にこにこハウスパネル展示 平成26年1月8日～



温泉熱でチーズ作り実験 平成25年12月16日

11 温泉を活用した事例紹介



温泉利用



アイスランド ブルーラグーン



温泉美容施設(遠州和の湯・源泉ミストサウナ)

温泉熱利用



八丈島 えこ・あぐりまーと 温室栽培



那珂川町 温泉トラフグ養殖

環境観光ツアー



真庭市 バイオマスツアー真庭



湯沢温泉
地熱農産加工所
(乾燥食品製造)



13 温泉発電の取り組み

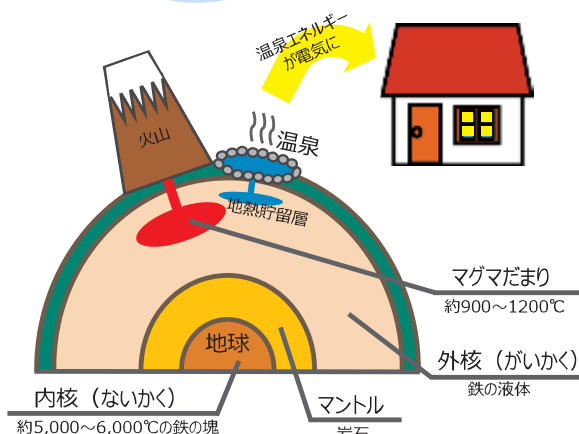


温泉バイナリー発電所

小浜温泉バイナリー発電所は、世界ジオパークである島原半島内に位置する小浜温泉で、未利用温泉水を活用して発電する地域の発電所です。

温泉バイナリー発電って何？

地球の中の地熱で温められた温泉を利用して電気をつくります。



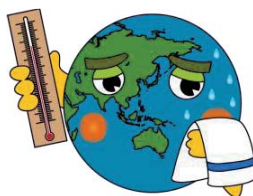
温泉バイナリー発電のしくみ

温泉の熱を利用してタービンを回し発電します。

温泉発電はここがスゴイ！

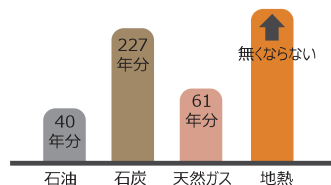
1. 地球にやさしくてクリーン

地球温暖化の原因といわれるCO₂(二酸化炭素)をほとんど出しません。



3. いつまでも使えます

資源が無くなることはないため、いつまでも使うことができます。



2. いつでも発電可能

天候、時間帯に左右されないため、いつでも発電できます。



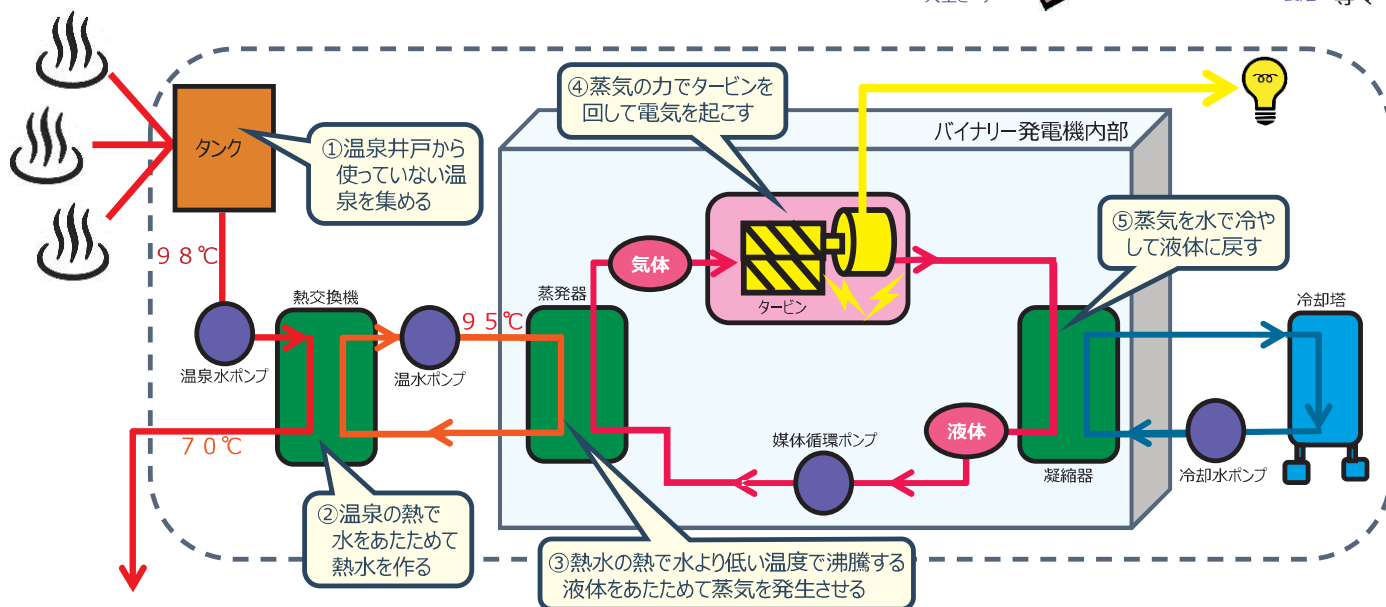
4. 国産だから安心

電気をつくる資源を海外から輸入しなくても良く、国産なので安心して使えます。



5. 発電した後も使える

発電に使った後の温泉も様々な利用が可能です。



14 発電所視察者実績報告

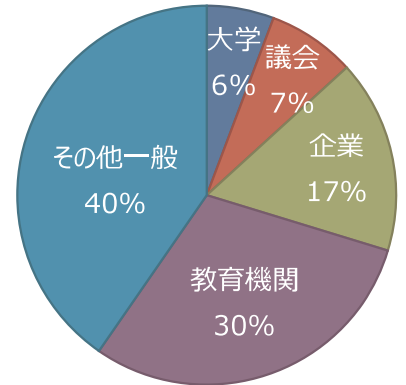


平成25年度視察受け入れ実績

月	視察者	小浜温泉宿泊客	小浜温泉食事客
4月	7組 46名	1組 2名	0名
5月	20組 514名(修学旅行305名含)	7組 108名	3組 54名
6月	17組 129名(修学旅行22名含)	8組 80名	2組 7名
7月	15組 190名	7組 約95名	1組 16名
8月	13組 76名	2組 25名	2組 4名
9月	15組 177名	4組 70名	2組 34名
10月	16組 159名	8組 53名	2組 16名
11月	27組 550名	8組 121名	8組 122名
12月	15組 143名	10組 93名	1組 2名
1月	12組 119名	4組 52名	0組 0名
2月	21組 334名	7組 65名	3組 74名
合計	178組2,437名(修学旅行327名含)	66組 約764名	24組 329名

※把握できている分のみ(2月末現在)

視察者の組織割合



178組2,437名

地域別受入れ状況



小浜温泉への経済効果 (試算)

※ツアー参加者把握分のみで試算

小浜温泉ジオツアー	小浜温泉宿泊客	小浜温泉食事客	合計
108組 1,489名 1,134,100円	6,112,000円(8,000円/人)	329,000円(1,000円/人)	7,575,100円

協働取組事業 まちづくり協働部会について



背景と目的

小浜温泉地域には、環境やまちづくりに関連した活動団体がたくさんありますが、これまで各団体が協働する機会は少なく、思い描く小浜の中長期なビジョンもバラバラでした。
また、それらの活動が教育や観光に十分生かされておらず、もったいない状態が続いていました。
そこで、小浜温泉地域の各団体が話し合い、協働する場をつくることにより、力を合わせて小浜温泉地域が抱える様々な課題解決と、小浜温泉の未来を見据えた持続可能な観光地域づくりを目指し活動しています。

※この取り組みは環境省の「平成25年度 地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業」に採択され、モデル事業として実施しています。（<http://www.geoc.jp/partnership>）

「105」通りの小浜プロジェクトを目指して

最高温度105℃の豊富な温泉資源を最大限に活用しようと、たくさんのアイデアが生まれプロジェクトが動き出しています。
今後も各団体と協力しながら少しずつプロジェクトを増やしていき、日本一の源泉温度にちなんで「105」通りの小浜温泉での活動を目指し、実現していきたいと思っています。
「温泉資源を活用した環境と観光のまち小浜」という、新たな魅力を全国にアピールすべく活動していきます。



本誌の趣旨

現在私たちは、協働取組事業 まちづくり協働部会を通して、小浜温泉で様々な活動を行っています。
本誌では、小浜温泉の魅力を再確認していただき、私たちの取り組みや今後の展開を、地域の皆様へ幅広く知っていただきたいという思いで発行いたしました。
本誌を通して、皆様の環境活動への意識が高まり、地域の皆と一緒に小浜温泉を盛り上げていきたいという思いを抱いていただけると幸いです。

目次

- | | | | |
|----|---------------|----|------------------|
| 01 | まちづくり協働部会の紹介 | 08 | 小浜温泉体験型プログラム紹介 |
| 02 | まちづくり協働部会の活動 | 09 | 平成25年度の協働取組活動報告 |
| 03 | 現在の小浜温泉の状況 | 10 | 平成25年度の協働取組活動報告Ⅱ |
| 04 | 小浜温泉の魅力ある資源 | 11 | 温泉を活用した事例紹介 |
| 05 | 各団体の声 | 12 | 小浜温泉の未来予想図（活用例） |
| 06 | ワークショップの実施報告 | 13 | 温泉発電の取り組み |
| 07 | ワークショップの実施報告Ⅱ | 14 | 発電所視察者実績報告 |



Obama
Onsen
Energy

一般社団法人 小浜温泉エネルギー

〒854-0514

長崎県雲仙市小浜町北本町862 島鉄バス小浜ターミナル2階

TEL/FAX : 0957-74-3345（雲仙Eキャンレッジ交流センター内）

E-mail : info@obamaonsen-pj.jp